

総合職試験・一般職試験(大卒程度試験)・
障害者(係員級)採用試験(大卒程度試験)共通 社会学

問1 次の(1)～(5)の概念を、具体的な例もあげつつ簡潔に説明しなさい。

- (1) 鏡に映った自己
- (2) 官僚制の逆機能
- (3) 再都市化
- (4) ベーシック・インカム
- (5) グローバル・ケア・チェーン

問2 社会調査に関して、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) アメリカのウェスタン・エレクトリック社のホーソン工場において1924年から1932年にかけておこなわれた一連の調査・実験がある。a.これらの中のひとつを取り上げ、その実験内容・結果について説明し、どのような結論が導かれたか、また、b.これらの調査・実験によってどのような研究領域が開拓されていったかについて、簡潔に論じなさい。

(2) 体育の授業で使う用具に関する中学校の生徒たちへの質問紙調査において、次の設問にはどのような問題があると考えられるか、また、どのように修正すればよいと考えられるか。簡潔に論じなさい。

「学校で指定している運動靴の価格と履き具合についてあなたは満足していますか、満足していませんか。次の1～5の中から、一つを選んでください。

- 1.とても満足している 2.まあ満足している
3.あまり満足していない 4.まったく満足していない 5.どちらともいえない」

(3) 質問紙調査において、パイロット・サーベイではどのようなことが実施され、それを実施することでどのような効果が期待されているか。簡潔に論じなさい。

(4) 大学の定期試験において、Aさんの社会学の2科目の成績は次のようであった。この場合、Aさんの社会学理論と社会調査の点数はどちらのほうが全体分布のなかで成績がよいといえるだろうか。標準得点の計算を記して、それをしめしなさい。

		得点	科目の平均点	科目の標準偏差
Aさん	社会学理論	76点	65点	16.0
	社会調査	68点	60点	13.0

- (5) ナラティブ・アプローチとはどのような方法により、どのような成果を期待しておこなわれる調査手法であるか。また、そのような調査手法がなぜ浸透してきたと考えられるか。簡潔に論じなさい。

問3 現代社会は「リスク社会」と評されることがある。これに関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) リスク社会の議論を最初に提起した社会学者は誰であり、リスク社会の特徴をどのようにとらえたものであったか、論じなさい。
- (2) リスク社会は、近代化という社会変動の大きな流れの中では、どのような段階として位置づけられるか、また、その影響は個々人の生活にどうおよんでいるか、具体例もあげつつ、論じなさい。
- (3) リスク社会を象徴する社会問題であるとあなたが考える事象を1つ選んで取り上げ、その事象を説明するとともに、その問題の複雑さや対応の困難さについて論じなさい。